

分子シミュレーション学会誌「アンサンブル」投稿規定

2019年4月13日(幹事会承認)

1. 本誌の目的

会誌「アンサンブル」は、分子シミュレーション手法の開発や、それらの応用に関する国内外の学術的情報の提供・普及、会員の啓蒙、研究成果の発表、本会が行う行事の広報、会員の相互交流などを目的として発行する。

2. 本誌の内容

本誌が扱う分子シミュレーション手法とは、分子動力学法、モンテカルロ法をはじめ、力場開発やサンプリング手法開発など、分子シミュレーションに関連するあらゆる手法をいう。本誌の内容を次のように分類する。

A 巻頭言

B 解説類: 特集, 連載, 受賞記念解説, 博士論文紹介等

C 最近の研究から

D 研究室紹介

E 海外紹介

F 書評, 新刊書紹介

G 会告 (学会の運営・会誌の内容・学術動向等に関する会員の投書欄, 国際会議や学会の報告)

3. 原稿の作成と取り扱い

3.1 原稿の受付

依頼原稿を主とし、自由投稿原稿の受付は編集委員会の判断による。著者は本会の会員である必要はないが、主として日本語で原稿を執筆できる者を対象とする。

3.2 原稿の種類

依頼原稿は上記2.のB-Fのいずれかとする。以下、カッコ内は刷上りページ数の目安。

(a) 特集記事 (約8ページ)

分子シミュレーションおよび関連領域の種々の特定の課題とその最近の進歩についての解説。

(b) 連載記事 (約8ページ/号)

著者の専門とするトピックスに関する複数号にわたる系統的な解説。

(c) 受賞記念解説 (約8ページ: 学術賞受賞者, 約2ページ: 討論会ポスター賞受賞者)

分子シミュレーション学会より賞を受けた会員が受賞内容を中心にして行う解説。

(d) 博士論文紹介 (約6ページ)

学位(博士)取得後原則2年以内の者が、単著で自身の博士論文を中心にして行う解説。

(e) 最近の研究から (約8ページ)

最近出版された論文の内容を読者に理解しやすいように解説する。さらに、方法論の開発記事の場合は読者が実際に手法を応用できるようにポイントやノウハウを指摘し、今後の期待される進展にもふれる。

(f) 研究室紹介, 書評, 新刊書紹介

刷上りページ数は随時。(研究室紹介は約4ページ)

(g) 海外紹介 (約6ページ)

海外に長期滞在し、その間に行った共同研究や研究環境などを報告する記事。

3.3 原稿と電子メディアの作成

原稿は、別に定める『アンサンブルの著者へのご案内』にしたがって、電子ファイル(word形式あるいはtex形式)として作成し提出する。特殊なOS, ワープロソフトについては、事前に事務局に相談する。

3.4 用語

主として和文とする。アブストラクト, キーワード, 図表の説明も原則和文とする。

3.5 原稿と電子メディア送付先

原稿, 電子メディア等の送付先は本会事務局とする。

3.6 受付年月日と受理年月日

本会が執筆者から原稿を受け取った日付を受付年月日、審査後に掲載許可となった日付を受理年月日とする。

3.7 原稿の審査

原稿は、全て編集委員会内での内容審査を経て採否が決定される。編集委員会は著者に原稿の内容、形式等について修正を求めることがある。

4. 著作権

4.1 掲載済の記事の著作権

掲載済の記事の著作権は本会に帰属する。著者は原稿提出の際、「著作権委譲承諾書」を提出する必要がある。自身が記事、論文などの一部を引用、転載・複製、翻訳により利用する場合、本会への事前の許可は不要である。但し全文を利用する場合は、著者が事前にアンサンブル編集委員会から許可を得なければならない。また、一部の利用又は全文の利用を問わず、出典を明記しなければならない。

4.2 転載

他誌の文献中（著者本人の文献を含む）の図版などを引用・利用する場合には、執筆者の責任において必ず著作権所有者から転載の許可を受けなければならない。

5. 掲載方法

原稿は、原稿提出直後に出版される「アンサンブル」に掲載され、紙媒体として会員に配布される。また、出版日の1年後、J-stageに電子ファイル形式で公開される。J-stageによる記事の講読は、本会会員に限らない。